

授業科目名	【G】	特許法	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2	
	【H】	特許法			【H】3		【H】2	
	【I】	特許法	選択		【I】3		【I】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	特許法・実用新案法・意匠法の基礎的理解				担当者	中川 浄宗		
授業概要	【概要】	<p>【実務経験を活かした授業】 弁理士である教員が特許法・実用新案法・意匠法について講義します。</p> <p>【概要】 本講義は、知的財産制度のうち、技術の保護と活用を図ることを目的とする「特許制度」および「実用新案制度」、ならびに工業的なデザインの保護と活用を図ることを目的とする「意匠制度」をはじめて学習する学生を対象にしています。 本講義の主な目的は上記3つの制度の全体像を理解し、技術およびデザインと法との関係を理解することです。 具体的には、特許権・実用新案権・意匠権を取得するためのそれぞれの要件と手続、取得した各権利の効力とその効力が制限される場合、各権利の侵害の態様とその救済についての基本的な理解を得ることを主な目的としています。 本講義では、知的財産制度が単に重要であるというだけでなく、知的財産制度自体がどのようになっているのか、その詳細を学んで理解することにより、知的財産制度についての学習を将来への糧とするとともに、今後の知的財産制度のあり方について一緒に考えていきましょう。</p>						
	【到達目標】	<p>1. 技術および工業的なデザインを取り扱う知的財産法が理解できる。 2. 特許制度・実用新案制度・意匠制度を自ら活用できるようになる。 3. 上記の各制度を他人に説明できるようになる。</p>						
履修条件	特になし							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関係	同じ知的財産法に属する法律であることから、著作権法Ⅰ・Ⅱおよび商標法についても合わせて履修または聴講することをお勧めします。							
教科書	中川浄宗「知的財産権スターターガイド(特許、実用新案、意匠、商標、著作権)」(一般社団法人発明推進協会)2025年							
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・角田政芳・辰巳直彦「知的財産法」(第9版・有斐閣)2020年 ・中川浄宗「弁理士になりたいと思ったらはじめに読む本」(中央経済社)2021年 ・特許法・実用新案法・意匠法の各法について、条文を参照できるように、左記の各法が収録された法令集をご準備いただくか、またはe-govのウェブサイトなどから左記の各法をダウンロードしてご準備願います。 							
評価方法	到達度確認テスト(70点満点)、講義内小テスト(30点満点)、および発言などの講義に取り組む姿勢を合算して評価を行います。							
フィードバック方法	講義中に私からそれまでの講義について質問し、それに対する解答を求めるとともに、受講者から得られた解答について解説を行います。							
評価基準	上記評価方法に挙げた要素を合算して、90点以上でS、80点以上90点未満がA、70点以上80点未満がB、60点以上70点未満がC、60点未満はDないしFとします。ただし、講義内小テストの得点が10点未満の場合は、講義に参加していないものとして、その時点でFと評価します。							

授業 科目名	【G】	特許法	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【H】	特許法			【H】3		【H】2
	【I】	特許法	選 択		【I】3		【I】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス・知的財産法の全体構造:知的財産法の体系 予習: テキストの序章を熟読しておいてください (90分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
2	特許法(1):発明の要件と種類 予習: テキストの第1章を熟読しておいてください (90分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
3	特許法(2):特許要件 予習: テキストの第1章を熟読しておいてください (90分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
4	特許法(3):特許の主体 予習: テキストの第1章を熟読しておいてください (90分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
5	特許法(4):特許の取得手続 予習: テキストの第1章を熟読しておいてください (90分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
6	特許法(5):特許権の効力と制限 予習: テキストの第1章を熟読しておいてください (90分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
7	特許法(6):特許の活用・消滅事由・特許権の侵害と救済 予習: テキストの第1章を熟読しておいてください (90分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
8	実用新案法:実用新案制度の概観 予習: テキストの第2章を熟読しておいてください (120分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
9	意匠法(1):意匠の要件と種類 予習: テキストの第3章を熟読しておいてください (120分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
10	意匠法(2):意匠の登録要件 予習: テキストの第3章を熟読しておいてください (120分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
11	意匠法(3):意匠の登録手続 予習: テキストの第3章を熟読しておいてください (90分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
12	意匠法(4):意匠権の内容 予習: テキストの第3章を熟読しておいてください (90分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
13	意匠法(5):特殊な意匠の保護制度 予習: テキストの第3章を熟読しておいてください (120分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
14	特許および意匠に関する国際条約 予習: 第1～13回講義の配布資料を熟読しておいてください。(90分) 復習: 当回で配布したまとめのプリントの穴埋めを行ってください。(90分)						
15	総括と到達度確認テスト 予習: これまでの講義内容をまとめのプリントで確認してください。(90分) 復習: 特になし						
その他	講義内少テスト、到達度確認テスト、授業への参加態度などに係る詳細な説明は初回の授業で行います。従って、初回の授業には必ず出席してください。 毎回、テキストおよび配布したプリントを使用しますので、ご持参ください。						